

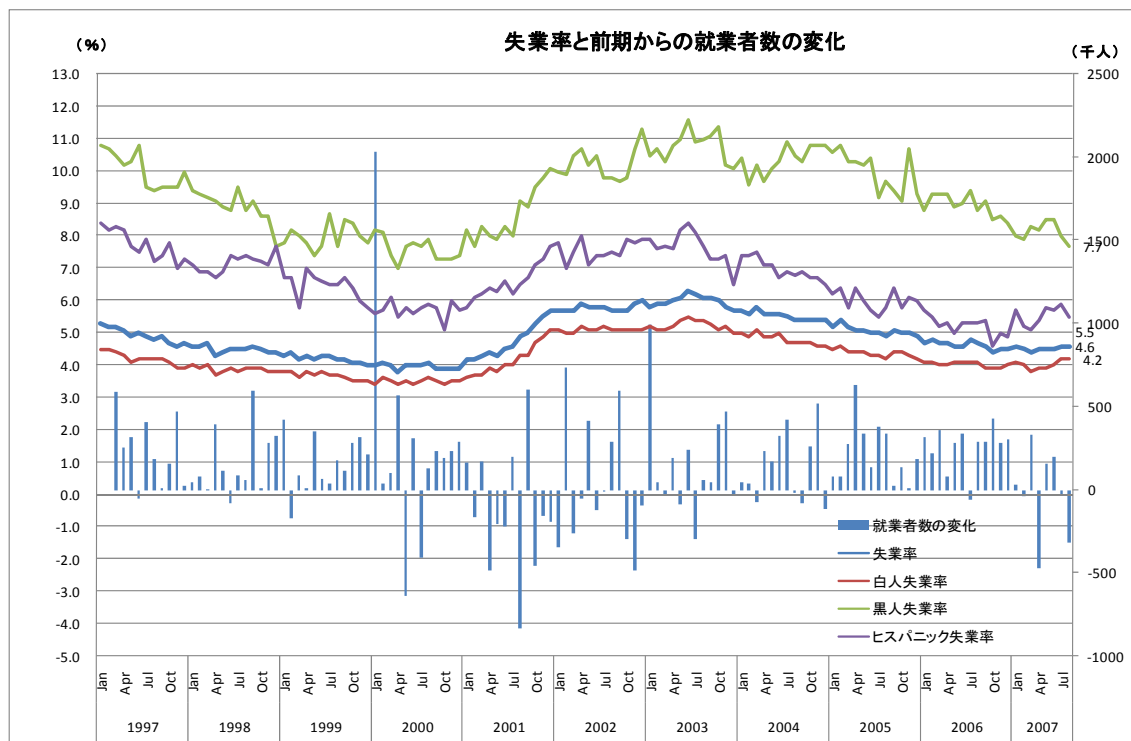
米国経済点描（2007. 09. 11）

～2007 年 8 月の失業率～

9 月 10 日に米国労働省労働統計局（BLS）が公表した 2007 年 8 月の家計調査に基づく失業率は、前月 7 月と変わらず 4.6%であった。

8 月の就業者数は、暫定値で前月より 31 万 6 千人減少。その理由は 10 代で労働参加率が大幅に低下し、労働人口そのものが 34 万人減少したためである。民間部門ではこの 3 ヶ月平均で 7 万 2 千人の増加であった。また、非農業部門の従業者数は、7 月には 6 万 8 千人の増加であったが、8 月は一転して 4 千人の減少となった。

就業者の減少は、下図に示すようにこの 4 月にも 46 万人減少しており、上記から直ちにサブプライム問題の影響を言い立てるのは早計に過ぎよう。労働統計局の認識は、基本的に変化なしであり、またサブプライム問題の影響については一切言及していない。



○お問合わせ先○

株式会社アクシスリサーチ研究所 〒107-0052 東京都港区赤坂渡辺ビル 4 F
TEL 03-5572-7770 FAX 03-5572-7771 E-mail contact@axis-research.co.jp